Edu NEXT
特別講演

DNP 大日本印刷　駿台 SUNDAI

日本の教育を本気で考える

細田 眞由美 先生・白井 龍馬 先生による特別講演

次期学習指導要領に向けた 未来志向の教育改革と次世代ICT活用戦略

事前申し込み制・無料・定員あり

対面・中継実施（要事前選択）

開催日時

2026年 11月5日 木
15:00-17:10 受付開始 14:30～

会 場 福岡（博多）

福岡県中小企業振興センター
JR吉塚駅 東口より徒歩1分

第１部：細田先生によるご講演（50分）
第２部：白井 龍馬 先生によるご講演（30分）
第３部：講演者によるトークセッション（30分）
第４部：駿台ICT商材紹介（10分）
※ 途中10分休憩（予定）

２名の教育者による特別講演会を、九州・福岡（博多）で開催します！



細田 眞由美 先生

日本全国各地で活躍する、教育スーパーアドバイザー。
経済産業省「イノベーション創出のための学びと社会連携推進に関する研究会」座長
経済産業省「産業界と教育現場の連携を推進するコーディネーターに関する研究会」座長
文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関する検討会議」委員
文部科学省 中教審「第12期中央教育審議会臨時委員デジタル教科書推進WG」委員
文部科学省 2025・2026年度「AIの活用による英語教育強化事業」企画調整委員
文部科学省 中教審初等中等教育分科会教育課程部会「外国語WG」委員



白井 龍馬 先生

福岡教育大学大学院
教育学研究科 講師
日本CLIL教育学会 副会長

英語教育学、特に内容言語統合型学習（CLIL）を専門とし、英語教育と教科横断的な学びを融合させる教育実践の研究に取り組む。慶應義塾大学経済学部を卒業後、神奈川県内の私立中学校・高等学校において英語科教員として勤務。その後、オーストラリアのディーキン大学大学院で教育学を修め、久留米工業高等専門学校での教育・研究活動を経て、現在は福岡教育大学大学院教育学研究科の講師として、教員養成と教育実践研究に携わっている。
主な研究領域は、CLILの授業実践と教材開発、学習評価、探究的な学びとの融合など。英語を単なる知識・技能の習得にとどめず、教科の内容や社会的課題について考え、他者と対話し、自らの考えを表現するための学びへと発展させる教育の在り方を追究している。
検定教科書『FLEX ENGLISH COMMUNICATION』シリーズの執筆に携わるほか、『CLILで学ぶ：国際教養』を編著。日本CLIL教育学会副会長として、CLILの普及と実践研究の発展にも尽力している。令和6年度久留米工業高等専門学校ベストティーチャー賞受賞。
教育現場での実践と学術的な研究を往還しながら、主体的・対話的で深い学びの実現と、これからの時代に求められる英語教育の可能性を切り拓いている。

裏面でさらに詳しくご紹介
お申込みは裏面の二次元コードから

新しい学びと教育者のコミュニティー！
次期学習指導要領を見据え、教育の未来をともに考える講演会！

細田 眞由美 先生 ご紹介

さいたま市教育長を歴任。現在は、全国自治体の「教育政策プロデューサーやアドバイザー」、教育デジタル化推進を中心に幅広く活躍。

東京大学公共政策大学院講師・兵庫教育大学客員教授。これまで埼玉県立高等学校英語教諭、埼玉県ならびに、さいたま市教育委員会、さいたま市立大宮北高等学校校長を経て、2017年6月より2023年6月まで、さいたま市教育長を務める。文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員、経済産業省産業構造審議会教育イノベーション小委員会委員、国立教育政策研究所評議委員会評議員、スポーツ審議会委員、日本ユネスコ国内委員会委員、などを歴任。

著書に、ベストセラー『世界基準の英語力（時事通信社）』はじめ、『コロナ禍の学校で「何が起こり、どう変わったのか」』(東信堂)、『地域スポーツ政策を問う 新しい地域スポーツへの挑戦』(ベースボール・マガジン社)など。



白井 龍馬 先生 ご紹介

専門は、CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）を中心とする英語教育学である。CLILは、英語を単に習得する対象として学ぶのではなく、英語を用いて教科内容や社会的なテーマについて考え、対話し、理解を深める学習アプローチである。言語の習得と内容の理解を結び付けることで、思考力、表現力、協働する力などを総合的に育む可能性を持ち、学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」とも深く関わる。

活躍の分野	具体的な実績・取り組み
① CLILの実践・研究	高校英語、高専での科学・技術分野など、実際の授業を通じた研究
② 授業の効果検証	授業前後のライティング分析などによる学習成果の検証
③ 教材開発・教科書執筆	検定教科書『FLEX』の執筆、教科書を活用したCLIL型授業の研究
④ 教育界への普及	日本CLIL教育学会副会長、研究大会・研修会・ワークショップでの活動
⑤ 教師教育への貢献	福岡教育大学での教員養成、海外子女教育振興財団の教員研修への参画

研究と教育実践を往還し、理論を具体的な授業へと結び付け、英語教育の新たな可能性を切り拓く。

※今回の講演会では、CLILの解説と模擬授業（対面参加者は体験可能）、新学習指導要領との接点など中心に扱う。

学校現場で活用できるICTサービスの紹介

モモスタ ｜ ELSA ｜ おぼえるん ｜ テンサクさん

こんな人におすすめ

- 次期学習指導要領への対応を検討している
- 英語を専門として教えている
- AIを含めた教育DXの最新動向を知りたい
- ICT活用をさらに推進したい

駿台ICT教育プロジェクト（事務局）
金田 070-2654-4327　受付：平日10:00～17:00
Mail：ictdesk@sundai-net.jp

お申込みはこちら

申込期限
2026年11月4日（水）
二次元コードからお申込み